

関西広域環境保全計画(第4期)

◆ 関西広域環境保全計画について

関 西地域は、環境を経済社会活動の基盤として、環境・経済・社会の統合的向上を実現する**地域循環共生圏を形成**し、他の地域のモデルとなる持続可能な社会を実現するポテンシャルを秘めています。加えて、関西という大きな地域として、**地域環境**だけでなく**地球環境**も視野に入れた取組の推進が期待されています。



< 施 策 の 展 開 >

構成府県市の実状を踏まえ役割分担しつつ、関西広域連合で取り組むべき**3つの視点**で施策を展開しています。



S DGsの目標年である2030年及びその先にある**カーボンニュートラル**の目標年である2050年を見据え、**地域環境・地球環境問題**に対応し、**環境・経済・社会**の統合的向上による**持続可能な関西**の実現を目指します。



◆ 目標

地域環境・地球環境問題に対応し、環境・経済・社会の統合的向上による**持続可能な関西**

◆ 計画期間

令和5年度～令和7年度

◆ 目指すべき姿

- 豊かな暮らしと元気な産業が実現された**脱炭素社会**
- 生物多様性が保全され、その恵みを身近に感じる**自然共生型社会**
- すべてのものを**資源**と考える**循環型社会**
- 持続可能な社会を担う**多様な人材**の充実

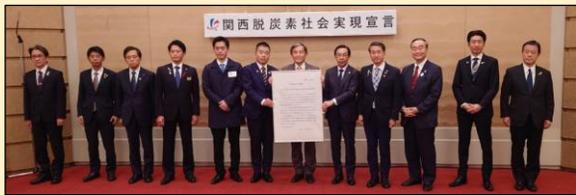
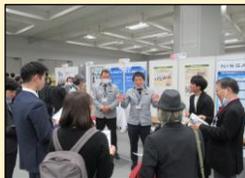


◆ 各分野での取組

● 脱炭素社会づくり (地球温暖化対策)



- ・関西脱炭素社会の実現に向け、省エネ・節電の呼びかけ等により機運を醸成していきます。
- ・次世代自動車の普及拡大に向けた情報発信や、再生可能エネルギーの導入促進に関する課題や情報等の共有・発信を進めます。



● 自然共生型社会づくり (生物多様性の保全)



- ・様々な生態系サービスを次世代へ引き継ぐため、生物多様性に係る目標達成に資する取組を推進します。
- ・「関西広域カワウ広域管理計画」に基づく取組をはじめ、ニホンジカや外来獣等の被害軽減に向けた取組を推進します。



● 循環型社会づくり (資源循環の推進)



- ・ごみを出さないライフスタイルへの転換を目指して、一層の機運醸成と3Rの実践行動を推進します。
- ・プラスチックごみや食品ロスの削減に資する優良事例等の各種情報を共有し、ごみ削減に向けた取組を推進します。



● 持続可能な社会を担う人育て (環境学習の推進)



- ・関西が持つ豊かな自然環境等の活用による体験を意識した交流型環境学習等を通じ、多様な環境人材の育成に取り組みます。

